

来年本県で開催 全国高総文祭



本番への意気込みを語る生徒

ともにブレ大会が開催でき、大会本番に向けて地域の皆さんにアピールできた。来年も多くの人が来場してもらえ、ように、今後も広報活動に力を入れたい」と話した。
石田市長は「全国から多くの人が来てくれることを楽しみにしている。私もSNS(交流サイト)等で広報するので、みんなで盛り上げていきたい」と激励した。

(間杉大旗)

「広報活動力入れたい」

大館市 地元高校生、市長と面会

来年夏に本県で開催される第50回全国高校総合文化祭(全国高総文祭)で、大館市が会場の小倉百人一首かるた

と演劇の部会長を務める地元高校生が18日、市役所を訪れた。石田健佑市長と面会し、本番に向けてPRに力を入れることを伝えた。

訪問したのは、小倉百人一首かるた生徒部門別部会長の児玉正宗さん(大館鳳鳴1

年)、演劇生徒部門別部会長の鈴木汐音さん(大館桂桜2年)ら7人。
小倉百人一首かるたは来年7月28〜30日にタクミアリーナで開催。各都道府県の選抜メンバーによる団体戦で日本一を争う。演劇は7月30日〜8月1日にほくしか鹿鳴ホールを会場に行い、全国8プロツクの計12校が上演する。
児玉さんは「かるた、演劇